

# 株主通信

〈第60期中間〉

平成26年7月1日から  
平成26年12月31日まで

人と自然に調和する環境を創造する

 株式  
会社 **武井工業所**

# 株主の皆様へ

To our shareholders



平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第60期上半期（平成26年7月1日から平成26年12月31日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況と中間決算の状況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、何卒今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月

代表取締役社長 武井 厚

## 事業の概況

Business review

当上半期におけるわが国経済は、消費税引き上げによる内需への影響も落ち着きつつあり、円安進行に伴う輸出環境の改善を背景とした企業収益

の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。

当社の属する建設業界におきましては、公共投資、民間設備需要とも堅調に推移いたしましたが、労務費の高騰や資材価格の高止まりが常態化し、厳しい状況が続いております。

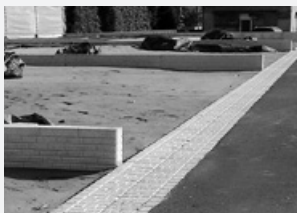
このような経営環境のなか当社は、長期的な収益の安定を図るため、官需、民需とも当社オリジナル製品の販売比率を高める施策を行ってまいりました。また、汎用品の需要につきましては、繁忙期に入り、リードタイムの短い顧客・現場のニーズに応えるべく、受注内容を精査し製造・出荷に対応してまいりました。

この結果、売上高は22億6千4百万円（前年同期比10.0%減少）となりました。利益面では、営業利益9千9百万円（前年同期比28.9%減少）、経常利益8千4百万円（前年同期比32.8%減少）、中間純利益は4千2百万円（前年同期比69.8%減少）となりました。

下半期におきましては、上半期に積み上げた受注を確実に取り込むとともに、製造原価の低減に努め、期初計画の達成に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

## 茨城県鹿嶋市 宅地造成工事

製品：シキール・フリーストレンVⅡ

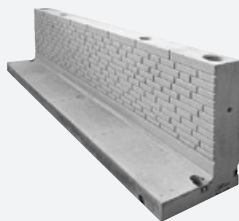


鹿嶋市は茨城県南東部に位置する市です。古くから常陸国一之宮である鹿島神宮の門前町として栄えました。現在は神栖市と共に重要港湾である鹿島港を中心とした鹿島臨海工業地帯を形成し、新日鐵住金の企業城下町として鉄鋼企業を中心とした工業都市です。また、Jリーグ鹿島アントラーズのホームタウンとしても有名です。

さて、今回ご紹介する現場は、同市の中でも高台に位置し鹿島サッカースタジアムにも近く、太平洋を望む敷地面積約5,000㎡・16区画の宅地造成地となります。ここでは、シキールを約400mとフリーストレンVⅡをご使用いただきました。シキールは、当社で開発した宅地の間仕切り兼フェンス基礎です。従来は職人の手作業でブロックを一つ一つ積み上げて構築してきた壁と基礎部を一体型としてプレキャスト化しました。このため、特殊な技能や訓練を必要とせず土木作業の延長で重機を使用しての作業で工事を進める事ができる時代のニーズに応えた製品です。宅地全体の景観は、シキールのタイル模様がフリーストレンVⅡと相まって、ちょっと贅沢な雰囲気に仕上がっています。

### シキールは日本各地へ

シキールは当社が加盟しているNEP工業会会員各社のご賛同を得て、日本各地で販売される運びとなりました。現在、当社の販売エリアも含めて北から南へ19都道府県での販売を予定しております。



シキール



フリーストレンVⅡ

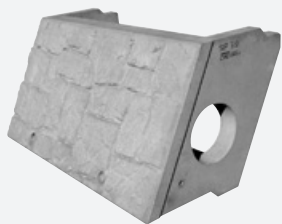
# 茨城県北茨城市 市道改良工事 (北茨城市民病院アクセス道) 製品：SPブロック・レインコレクター



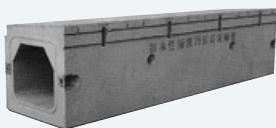
この道路は、茨城県北茨城市が建設を進めてきた北茨城市民病院へのアクセス道として新設されました。北茨城市民病院は、地域医療の水準を高めるため総事業費69億円を費やし敷地面積48,145㎡、地下1階地上4階で療養病床46床、一般病床137床の茨城県の県北地域や福島県いわき市勿来地区の中核となる病院です。病院が建てられたこの場所は茨城県立北茨城高校跡地で、従来の道は幅が非常に狭く乗用車でもすれ違いに気を遣う状態でした。しかも高台へ急角度な上り下りとなるため、つづら折りに曲がりくねっていました。このため、市内3駅と北茨城市民病院を結ぶ無料シャトルバスが容易に通行出来る新たな道として、建物の建設と並行して工事が進められました。

ここにはSPブロックとレインコレクターをご採用いただきました。SPブロックは法面の崩壊を防ぐための土留めブロックで、1個の大きさが縦1m×横2mの大型のブロックです。表面は、石積みを模した味わいのあるデザインとなっています。施工性も非常に良く、傾斜を考慮した独特の形状により基礎部分を現場打ちにて構築すれば積み木を重ねるような容易さで安全な土留め壁を構築できます。数量は400個(800㎡)となりました。

また、レインコレクターは天端面に6%の勾配が付いた函渠型側溝です。緑石ブロックと組み合わせて道路端に配置することにより、表面及び内部の両方で水路を形成できる優れた製品です。こちらは65本(130m)をご使用いただきました。



SPブロック



レインコレクター

## 千葉県大網白里市 歩道設置工事

製品：セーフティロード



大網白里市は、千葉県の県庁所在地である千葉市の東隣で、太平洋に面し九十九里平野の南西部に位置する人口約5万人の市です。今回の施工現場となる道路は、同市の中でも海から900mほど離れた場所を海岸線と平行に走る県道123号線（一宮片貝線）となります。この場所には、歩行者の安心・安全な通路確保として張出歩道のセーフティロードをご採用いただきました。比較的広い2車線のこの道路は、両側に農地があり隣接して水路が設けられています。従来このような場所に歩道を設けるには、土留め・水路の改良など多種に亘る工事で時間もお金も掛かりました。しかし、セーフティロードは特殊な片持ち構造のため、水路には手を入れず簡単に歩道を構築する事が可能となります。歩道部となる部分の寸法は1.0m～2.5mの4種類から選べます。このため、現場状況に合わせ経済的なサイズを選定することが出来るとても便利で経済的な製品です。今回は55本（83m）分ですが、この先も更に延伸が計画されています。

ここのところ、登校中の児童の列に車が飛び込むなどの交通事故が各地で起きています。当社では交通安全施設充実のため、今後もより良い製品の提供を目指すと共に、痛ましい事故が1件でも少なくなるよう新製品の開発を進めてまいります。



セーフティロード

## 栃木県小山市 太陽光発電所工事

製品：F基礎（太陽光パネル用基礎ブロック）



日本での太陽光発電は歴史が古く、昭和48年のオイルショックから開発と普及に力が注がれました。そして平成23年に余剰電力買取制度と国・自治体の各種助成策が実施され、更に平成24年から公共産業向け設備への全量買取制度が導入されると共に、日本中に爆発的な早さで普及が進みました。現在、国内で太陽光パネルを販売しているメーカーは40社余りにもなります。パネルの固定

方法も市販の鋼製パイプを組み上げた簡易なものから、しっかりとした大型の基礎に太陽の動きに追従する可動式なものまで様々です。このような中で、当社では基礎部分となる板形状のコンクリートブロック製品名「F基礎」の製造を行っております。設置する地面を平らに整地し、ブロックを並べて小型のアンカーを打ち込むだけで非常に簡単な方式のため短期間での施工が可能です。簡易な構造ですが、風の力で動いてしまわないよう充分に計算を行い、ブロックの形状・重量を決定しておりますので安心です。

今回ご紹介する現場は個人の方が始められた発電所で、栃木県小山市の国道4号線沿いとなる市街地に位置します。国道からはその姿をうかがい知ることはできませんが、住宅街へと150mほど進むと突然フェンスに囲まれた414枚の太陽光パネルが目の前に広がります。個人の方が始められた発電所としてはかなり大きい方ではないでしょうか。ここではF基礎を828枚ご使用いただきました。



F基礎

## 茨城県北茨城市 五浦天心遺跡記念公園内園路新設工事 製品：ジオベスト（土舗装固化材）



五浦は入江が五つあるところから名付けられた場所で、茨城県北東部の北茨城市に位置します。ここに岡倉天心が開設した旧日本美術院五浦研究所跡地を整備した天心遺跡記念公園があります。岡倉天心は明治時代に日本美術の復興・保存に励み、日本文化を広く海外に紹介し、自らも創作活動を行った日本美術史上有名な人物です。公園は、長屋門・天心記念館・アメリカの美術史家ウォーナー像・六角堂・天心邸・「垂細垂ハーな里」石碑で構成され、非常に静かで落ち着いた雰囲気となっています。特に天心遺跡のシンボルである六角堂は明治38年に岡倉天心が自ら設計したもので、「観瀾亭」とも呼ばれています。残念ながら当初の建物は東日本大震災の津波により流失してしまいましたが、国の復旧予算に加え、多くの方々の寄付により一年後に創建当時の姿に再建され、平成24年4月に一般公開が再開されました。

さてジオベストは、入り口である長屋門から入りウォーナー像を通り六角堂を結ぶ海側の新しく設けられた通路にご採用いただきました。両側をがっちりとした太い擬木と真新しい白いロープに守られた木々の間を進む道で、目の前には園内の静かさと相反した荒々しい海が広がっています。ここでの施工面積は約100㎡となりました。この商品は、マグネシウムを原材料とした中性で自然に優しい土固化材です。ジオベストにより固められた道は丁度良い柔らかさと土本来の風合いを残しており、周囲の雰囲気を壊すことなく園内の自然に溶け込んでいます。

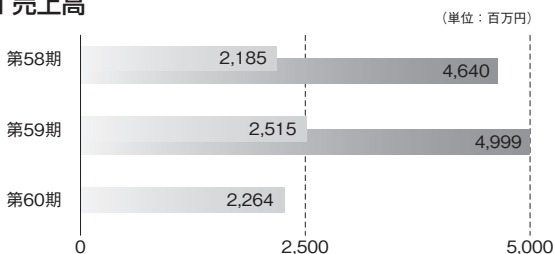


# 財務ハイライト

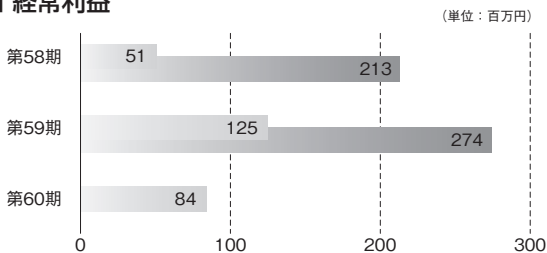
## Financial highlights

中間 通期

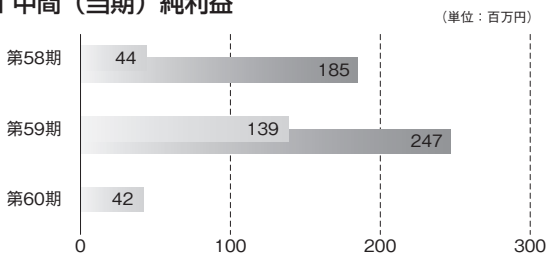
### ■ 売上高



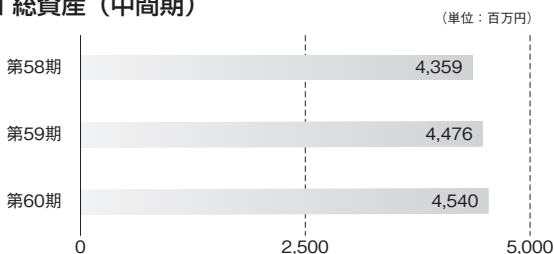
### ■ 経常利益



### ■ 中間（当期）純利益



### ■ 総資産（中間期）





# Information

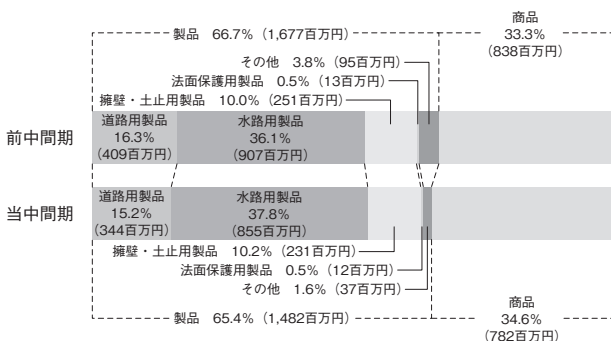
## 部門別の状況

第60期中間期における売上高は、22億6千4百万円で、前年同期比10.0%の減となりました。主な要因としましては、建設現場の人手不足等による工事着工の先延ばしによるものです。

製品別では道路用製品で3億4千4百万円（前年同期比15.8%の減）、水路用製品で8億5千5百万円（前年同期比5.7%の減）と、総じて前年同期を下回りました。

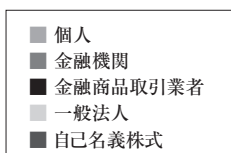
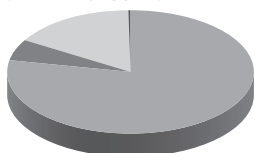
一方で政府の国土強靱化計画を柱とした公共事業の発注により受注環境は順調に推移しており、前年同期比で20.3%増加しております。また、主原材料であるセメント、骨材や電気料、原油の値上がりによる製造原価の上昇分を販売単価に反映させるべく施策を全社一丸となって取り組んでまいりました。これにより前年同期比で6.3%の製品単価の改善が図れました。

下半期におきましては、圏央道の茨城～千葉区間、茨城～埼玉区間の開通、東関東自動車道の茨城空港北～銚田間の開通と大型物件の発注が予定されており、これらの受注を積極的に取り組んでいくとともに、宅地造成、流通系店舗の新設工事等の民間需要を取り込み、受注確保に努めてまいります。



## ■株式の状況 (平成26年12月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 3,542,000株
- (3) 株主数 513名
- (4) 株主の所有者別状況



## (5) 大株主

株主名	持株数	持株比率
武井 泉	375,750株	10.62%
武井 昭	354,750株	10.03%
武井 勇	340,520株	9.62%
太平洋セメント(株)	242,000株	6.84%
武井 厚	202,000株	5.71%
武井 恒	184,000株	5.20%
武井 洋	183,000株	5.17%
(株) 双葉商会	157,000株	4.43%
武井工業所従業員持株会	120,000株	3.39%
(株) 常陽銀行	100,000株	2.82%

※持株比率は自己株式5,344株を控除して計算しております。

## ■株価の推移 (第60期上半期)

(単位：円)

	H26.7	H26.8	H26.9	H26.10	H26.11	H26.12
最高	200	200	200	200	-	195
最低	200	200	200	200	-	140
出来高(株)	1,000	1,000	1,000	3,000	-	5,000

### 取扱証券会社

EVOLUTION JAPAN証券会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-24

連絡先 03-5485-5600 (代表) 受付時間 9:00~17:00

URL <http://www.evofinancialgroup.com/ejs/>

※水戸証券株式会社様及びSMBC日興証券株式会社様は、売り注文の取次ぎのみ行っております。詳しくは各証券会社にお問い合わせ下さい。

### 株価の確認

<http://www.takei2l.co.jp/> または

<http://www.evofinancialgroup.com/ejs/commodity/greensheet.html>

## ■株主還元について

### (1) 配当金について

当社は、今後の事業展開に対応した財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を図りつつ、株主の皆様にご業績に裏付けられた安定的な配当の継続を方針としております。第60期の配当金につきましては、1株につき2.5円(期末配当金2.5円)を予定しております。

### (2) 株主優待制度について

毎年6月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主の皆様に対し、日本穀物検定協会「お米の食味ランキング」でランクの「A」を獲得しました茨城県北部産のお米を、さらに厳選したコシヒカリ「天恵米(5kg)」を贈呈いたします。発送の時期は作況にもよりますが、毎年10月上旬から中旬を予定しております。



# 中間貸借対照表

(平成26年12月31日現在)

## Balance sheets

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>2,057,286</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,341,379</b>
現金預金	250,935	買掛金	285,507
受取手形	264,520	支払手形	67,143
電子記録債権	59,838	電子記録債務	155,902
売掛金	778,463	短期借入金	1,142,000
商品及び製品	596,921	1年内返済予定の長期借入金	285,378
原材料及び貯蔵品	74,342	リース債務	31,672
前払費用	12,242	未払金	256,704
繰延税金資産	20,504	未払法人税等	42,257
その他流動資産	6,070	未払消費税等	20,780
貸倒引当金	△6,553	預り金	24,658
<b>固定資産</b>	<b>2,482,880</b>	賞与引当金	26,500
<b>有形固定資産</b>	<b>2,338,763</b>	その他流動負債	2,874
建物	304,043	<b>固定負債</b>	<b>830,581</b>
構築物	142,965	長期借入金	556,880
機械装置	99,694	退職給付引当金	187,317
車輛運搬具	246	リース債務	76,361
工具器具備品	85,231	資産除去債務	8,282
土地	1,605,433	繰延税金負債	1,739
リース資産	101,150	<b>負債合計</b>	<b>3,171,960</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>4,835</b>	<b>純資産の部</b>	
電話加入権	4,572	<b>株主資本</b>	<b>1,362,164</b>
実用新案権	263	<b>資本金</b>	<b>522,323</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>139,281</b>	<b>資本剰余金</b>	<b>389,632</b>
投資有価証券	24,184	資本準備金	389,632
関連会社株式	10,250	<b>利益剰余金</b>	<b>451,321</b>
出資金	12,010	その他利益剰余金	451,321
破産更生債権等	163,630	固定資産圧縮積立金	6,707
長期前払費用	1,216	繰越利益剰余金	444,614
会員権	39,744	<b>自己株式</b>	<b>△1,112</b>
投資その他の資産	78,849	<b>評価・換算差額等</b>	<b>6,042</b>
貸倒引当金	△190,604	その他有価証券評価差額金	6,042
<b>資産合計</b>	<b>4,540,167</b>	<b>純資産合計</b>	<b>1,368,206</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>4,540,167</b>

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 4,975,093千円

3. 担保に供している資産 1,726,978千円

4. 受取手形裏書譲渡高 314,033千円

5. 受取手形割引高 15,451千円

# 中間損益計算書

(平成26年7月1日から平成26年12月31日まで)

## Statements of income

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>売上高</b>	2,264,691
売上原価	1,666,919
<b>売上総利益</b>	597,772
販売費及び一般管理費	498,261
<b>営業利益</b>	99,510
<b>営業外収益</b>	4,529
受取利息及び配当金	245
その他営業外収益	4,283
<b>営業外費用</b>	19,925
支払利息	19,618
その他営業外費用	307
<b>経常利益</b>	84,115
<b>特別利益</b>	147
固定資産売却益	147
<b>税引前中間純利益</b>	84,262
法人税、住民税及び事業税	38,812
法人税等調整額	3,358
<b>中間純利益</b>	42,091

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間株主資本等変動計算書 (平成26年7月1日から平成26年12月31日まで)

## Statements of changes in net asset

(単位：千円)

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本 準備金	利益剰余金			自己株式	
			その他利益剰余金		利益 剰余金 合計		
			固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金			
当 期 首 残 高	522,323	389,632	6,653	492,179	498,832	△1,112	1,409,675
会 計 方 針 の 変 更 による累積的影響額	—	—	—	△80,761	△80,761	—	△80,761
会 計 方 針 の 変 更 を反映した当期首残高	522,323	389,632	6,553	411,418	418,071	△1,112	1,328,914
中間事業年度中の変動額							
剰 余 金 の 配 当	—	—	—	△8,841	△8,841	—	△8,841
中 間 純 利 益	—	—	—	42,091	42,091	—	42,091
固定資産圧縮積立金の積立	—	—	120	△120	—	—	—
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	△66	66	—	—	—
株主資本以外の項目の中間 事業年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—	—
中間事業年度中の変動額合計	—	—	53	33,196	33,249	—	33,249
当 中 間 期 末 残 高	522,323	389,632	6,707	444,614	451,321	△1,112	1,362,164

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当 期 首 残 高	4,839	4,839	1,414,515
会 計 方 針 の 変 更 による累積的影響額	—	—	△80,761
会 計 方 針 の 変 更 を反映した当期首残高	4,839	4,839	1,333,754
中間事業年度中の変動額			
剰 余 金 の 配 当	—	—	△8,841
中 間 純 利 益	—	—	42,091
固定資産圧縮積立金の積立	—	—	—
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—
株主資本以外の項目の中間 事業年度中の変動額 (純額)	1,203	1,203	1,203
中間事業年度中の変動額合計	1,203	1,203	34,452
当 中 間 期 末 残 高	6,042	6,042	1,368,206

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 役員

(平成26年12月31日現在)

## Board of directors and auditors

代表取締役社長	武井	厚
常務取締役管理本部長	大内 哲	朗
取締役製造本部長	金澤	隆
取締役営業本部長	岡本	仁
常勤監査役	鷹啄 英	昭
監査役	山根	節
監査役	古川 史	高
執行役員営業副本部長	萩原 秋	生

(注) 監査役 山根節、古川史高は、社外監査役であります。

# 会社の概要

(平成26年12月31日現在)

## Company information

商創設資	号立本	株式会社 武井工業所	
		昭和14年7月	
		昭和31年4月	
		522,323,400円	
		発行可能株式総数	12,000,000株
		発行済株式の総数	3,542,000株

### 事業所等

本社工場

茨城県石岡市若松一丁目3番26号

明野工場

(茨城県筑西市)

小川工場

(茨城県小美玉市)

岩瀬工場

(茨城県桜川市)

栃木工場

(栃木県下野市)

営業所

東関東営業部広域営業課(本社内)

◇ 茨城営業課 水戸営業所(本社内)

◇ 〃 つくば営業所(本社内)

◇ 〃 鹿行営業所(茨城県小美玉市)

西関東営業部広域営業課(栃木県下野市)

◇ 栃木営業課( )

従業員数

219名(男 195名、女 24名)

# 株主メモ

Note for shareholders

事業年度	7月1日～翌年6月30日
定時株主総会	毎年9月中
配当金受領株主確定日	1. 6月30日 2. 中間配当を実施する場合は 12月31日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(お問合せ先) (郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告 (やむを得ない事由がある場合は日本経済新聞に掲載して行います)
U R L	<a href="http://www.takei21.co.jp/">http://www.takei21.co.jp/</a>

(注) この株主通信は、第60期上半期の事業の概況等をお知らせするものであり、株主総会の招集、配当金のお支払い等はございません。



株式  
会社

**武井工業所**

本社 〒315-0018

茨城県石岡市若松一丁目3番26号

電話 0299-24-5200(代表)

<http://www.takei21.co.jp/>

